

● 中国

松本憲治

「コロナ禍」の中、コンサート自体の「中止」「延期」「無観客開催」「ライブ配信」また「観客1/2」開催など、関係者は翻弄された1年であった。今回のコロナ禍に対する広島市の行政関連の支援事業として、6月に広島市文化芸術振興臨時支援事業、10月に広島県文化芸術イベント等開催支援事業が立ち上がった。民間の支援事業としては、中国新聞社の「広島アーティストチャンネル」が立ち上がっている。

広島。広島交響楽団。定期演奏会で通常通り開催されたのは、1月第396回定期演奏会/Vn&コンサートマスター：フォルクハルト・シュトイデ、ヴィオラ：安保恵麻、2月第397回定期演奏会/指揮：下野竜也、ピアノ：小山実稚恵、の2回。

中止、延期は、3月第398回/指揮：クリスティアン・アルミンク、Vn：アイレン・ブリッテン、は中止、4月399回/指揮：秋山和慶は9月に延期、5月400回/指揮：下野竜也、ピアノ：横山幸雄、を21年1月に延期、401回/指揮：下野竜也、ハープ：吉野直子を21年3月に延期、7月402回/指揮：高関健、ピアノ：藤田真央、と、9月403回/指揮：阿部加奈子、ピアノ：小川典子は「観客1/2」でライブ配信。

また、4月第23回廿日市定期演奏会/Vn・指揮：徳永二男、ハープ：吉野直子、は中止、7月第28回島根定期演奏会/指揮：下野竜也、Vn：豊嶋泰嗣、オルガン：室住素子、は中止。11月「広報ポッツス」/指揮・編曲、藤野浩一は中止。

また、例年のディスカバリー・シリーズ、今年は「ベートーベン生誕250周年交響曲シリーズ」と銘打ち、まず1月シリーズ4（交響曲第4番など）/指揮：下野竜也、は通常開催。6月シリーズ5（ピアノ協奏曲第0番、交響曲第5番運命など）/指揮（同じ）、ピアノ：小菅優、は無観客ライブ配信、8月シリーズ6（交響曲第6番田園）/指揮（同じ）、Vn：正戸里佳、及び10月シリーズ7（交響曲第7番）/指揮（同じ）チェロ岡本侑也は「観客1/2」公演。

音楽の花束（名曲）シリーズ、2月/指揮：飯守泰次郎、Vn：大江馨、ナビゲーター假屋崎吾吾は通常開催したが、5月/指揮：沼尻竜典、フルート：ワルター・アウアーは21年3月に延期、11月/指揮：秋山和慶、オーボエ：広田智之は「観客1/2」開催。

恒例の8月「平和の夕べ」コンサート〈Music for Peace〉は、東京オペラシンガーズを合唱に迎えてのベートーベン第九に併せ、アルゲリッチを迎えて、藤倉大のピアノ協奏曲第4番の委嘱世界初演予定だったが、第九は曲目を変え、協奏曲はピアニストを萩原麻未に替えて初演された。

広島市文化財団のひろしまオペララネッサンス事業。今年は中止が相次いだ。とは言えオペラ関係ではまず、2月にオペラ「松風」/原作：観阿弥、改作：世阿弥、台本：ハンナ・デュブゲン、作曲：細川俊夫。指揮：川瀬賢太郎、演出：岩田達宗、1幕5場ドイツ語上演（字幕付き）。そして9月にモーツァルト・ガラコンサート。指揮：川瀬賢太郎、演出・構成：岩田達宗。出演は広島を中心とした歌手たち。また広島市内オペラ団体の

オペラ公演としては、今年是一本だけ。広島オペラアンサンブルが10月「電話」「泥棒とオールドミス」/指揮：齊城英樹、田坂州生。演出：豊田千晶。

福山市。5月に4日間「ばらのまち福山・国際音楽祭2020」を開催予定だったが、音楽祭自体を中止に。総合プロデューサー：池辺晋一郎、スペシャルアドバイザー：豊田泰久（音響設計家）で、リーデンローズ大ホールを中心に市内各所や神辺文化会館などで全10公演。ロシア国立ウリヤノフスク交響楽団によるオープニング・ガラコンサートからフィナーレコンサートの間に、ふくやま祝祭管弦楽団、合唱団、客演として広島交響楽団を呼び、日韓のアーティスト・コンサート、福山祝祭邦楽団演奏会、など多彩なプログラムだっただけに惜しまれる。

東広島市でも公演中止が相次いだ。実施されたものは、2月に地域オペラ団体ヴィタ・ムジカレが「歌劇アイダ」を。指揮・演出：もりてつや。8月に「感謝と応援コンサート 広島交響楽団 in くらら」が広島交響楽団の木管、金管、弦の室内楽で。指揮は下野竜也。11月に広島交響楽団の第1回記念定期演奏会。「ベートーベン生誕250年」としてVn協奏曲や交響曲第5番「運命」など。指揮：大友直人、Vn：前橋汀子。

廿日市市では、芸術文化ホールさくらびあを拠点に今年度から開始予定の、「はつかいちジュニア弦楽合奏団 “NO・ZO・MI”（のぞみ）」の3月公演/指揮：松本憲治、が来年度に延期。また5月「はつかいち室内合奏団 “SA・KU・RA（さくら）”」の創設記念演奏会/指揮：澤和樹、も来年度に延期。室内合奏団メンバーによる廿日市市内小学校14校に学校訪問コンサート「ほほえみコンサート」は継続3年目。

岡山では、やはり「岡山市文化芸術活動支援〈文化の灯を消さないプロジェクト〉」が10月に立ち上がっている。岡山シンフォニーホールが拠点の岡山フィルハーモニック管弦楽団は、1月ニューイヤーコンサート2020/指揮：ハンス・イェルク・シェレンベルガー、の後、定期公演の第63回～65回まで中止。10月の第66回定期演奏会は開催された。指揮：熊倉優、Vn：郷古廉で、シューベルト交響曲第7番「未完成」やヴィヴァルディのVn協奏曲集「四季」など。

山口。シンフォニア岩国では8月に広島交響楽団で「親子で楽しむ真夏のベートーヴェン」指揮：広上淳一。秋吉台国際芸術村では10月に「若手芸術家育成プロジェクト」として「ふるさと音楽会」を。山口県出身で日本各地で活躍している、主に管楽器奏者たち13名による室内楽コンサート。他の事業は中止。

島根。しまねカンタート2020が1月、2日間に渡って開催。合唱のワークショップ、レクチャー、交流コンサートなど。総合プロデューサー：栗山文昭。11月隠岐島音楽祭2020で「オペラコンサート」開催情報は目を引く。

鳥取。鳥取県文化振興財団プロデュース公演として、鳥取出身で全国で活躍している弦楽器奏者20名を集めて「とっとりチェンバー・オーケストラ」を結成。11月に倉吉未来中心ホールで「弦楽アンサンブルコンサート」を。指揮：澤和樹。プランニング・アドバイザー：門脇大樹（神奈川フィル奏者）。親子向けコンサートや学校訪問コンサート、クリニックなどの活動も。